

# 「海とみなと—その歴史・役割・観光」

## 総評

今回も全国から港湾での活力ある物流活動や、海辺での華やかなイベント、美しい砂浜で楽しむ家族づれの姿、新しい景観に生まれ変わった港の風景など、幅広い内容の秀作が沢山寄せられ熱の入った審査会となりました。

年々デジタルカメラによる作品が増え、仕上がりの調子の進歩には眼を見張るばかりです。今回は上位入賞14点の中、4点がデジタルカメラによる作品でした。

このコンテストは地方別に賞が設定されていますが、地区による応募数の片寄りが多いようで、今年は北陸と中国、四国地方が少なく、関東、近畿地方の作品が多く寄せられました。この地区分けは撮影者の住所によるものではなく、被写体の場所による区分けですので、旅行の折など、このウォーターフロントフォトコンテストの主旨を頭の片隅に入れておいていただき、新しい視点での作品を寄せていただきたいと思います。

## 入賞作品



国土交通大臣賞 山田 英雄



「富士を望むドック」(静岡県清水港)

雄大な富士山と競い合うような巨大な船体。フレーミングの巧みさで、実にボリューム感と迫力のある画面を創り上げているのに感心します。

手前の漁船をとり入れたことでタンカーの大きさもよく表現されていて、冬の快晴の日の朝に撮影したのも成功でした。



港湾局長賞 平形 晃



「接岸作業」(大阪府大阪港)

フレーミングが完璧で、重量感のある色調の中に、もくもくと接岸作業を進める様子が描かれています。コンピューター時代とはいえ、最後は人の手で慎重に接岸させなければという、緊張した雰囲気が伝わってきます。

日本港湾協会会長賞 田中 和夫



「浜辺で遊ぶ②」(神奈川県逗子海岸)

海辺で楽しむ子どもたちの喜々とした様子がストレートに伝わってくる、実に明るく楽しい光景です。人々の動きと、遠景のヨットをリズムカルに配置したフレーミングが、絵本の1ページのように、カラフルな夢の世界を創り上げています。





港湾海岸防災協議会長賞 里瀬 勝



「颱風の十勝港」(北海道十勝港)

堤防内に整然と避難する漁船群の後方に迫る高波。自然の脅威から生活を守る防波堤の役割を端的に表現している、実にダイナミックで迫りに満ちた作品で、そのカメラワークは完璧です。

北海道開発局長賞 高橋 春子



「港の賑い」(北海道函館港)

函館港で行われるこの華やかなイベントの作品は毎回数多く寄せられますが、この作品は撮影時間のタイミングが抜群で、夕暮れの港の情景描写と、スポットライトに照らされたカラフルな衣裳で踊る人々のリズムカルな動きから、夏の函館港の活気が伝わってきます。





東北地方整備局長賞 カマタニ ヒサト



「木材&石材港」(岩手県久慈港)

久慈港は木材と石材の流通港なのでしょうか。石材の積み込み作業にあわただしく働くクレーンやトラックを遠景に上手にとり入れ、前景にストックされた木材を印象強く写し込んだカメラワークが見事で、この港の特色を良く表現しています。

関東地方整備局長賞 内藤 正太郎



「訓練の日」(神奈川県横浜港)

快晴の横浜港、これから訓練が始まるのでしょう。整列した訓練生の背中から緊張感が伝わってきます。

発展する横浜港の美しい景観と帆船のとり入れ方が的確で、朝の光の中に、実にボリューム感のある描写が魅力的です。





北陸地方整備局長賞 佐藤 芳恵



「浚渫船」(新潟県新潟港)

港湾の機能維持のために大切な浚せつ作業。怪獣のような巨大なシャベルで海底の土砂をすくい上げているところなのでしょう。波と水しぶきが逆光線の中に印象強く写し止められ、迫力のある作品になっています。

中部地方整備局長賞 松本 昌彦



「豊漁を願う鯛まつり」(愛知県豊浜漁港)

強烈な夏の日差しに照らされた大きな赤い鯛がとても印象的で、ちょっとユーモラスですね。豊漁を願って、港に出迎える人々と漁船群のとり入れ方が適切で、まつりでにぎわう豊浜漁港の情景をよく捉えています。





近畿地方整備局長賞 岡本 聖



「リフト作業」(大阪府大阪港)

大型クレーンの鉄柱が林立する貨物埠頭でリフト作業をする様子を、望遠レンズで切りとった、圧縮された描写から、大阪南港の活気と作業の緊張感が伝わってきます。迫力のある画面構成です。

中国地方整備局長賞 鍵本 裕次



「夜の栈橋」(広島県似島家下港)

夕暮れどきの港の美しい風景に、旅情を誘われます。瀬戸内の島々を結ぶ小型カーフェリーで、日々の生活にはなくてはならない交通手段なのでしょう。シンメトリーに納めた画面づくりに加え、あたたか味のある光の効果で、ゆったりとした時の流れが感じられます。





四国地方整備局長賞 石角 尚義



「黄昏の赤灯台」(香川県高松港)

青い色調の中に、赤く輝く灯台を画面中央に印象強く配置し、夕暮れの桟橋で憩う人々を上手にとり入れた画面構成が見事です。クロスフィルターの効果を生かした描写が、ファンタジックな世界を演出しています。

九州地方整備局長賞 村上 淳



「海と街のハーモニー」(福岡県百道浜)

展望タワーからの風景なのでしょう。百道浜の整備された景観を、航空撮影のように見えるカメラアングルで、海辺、建造物、道路と車、そして緑、それらをシンメトリーな構図の中にまとめた構成美が見事です。





□ 沖縄総合事務局長賞 上原 文子

「糧の連絡船」(沖縄県泊港)



今迄の沖縄局長賞は紺碧の海をテーマにした作品が多かったのですが、今回は、発展を続ける那覇泊港の、物流の一環を狙った作品になりました。大きなコンテナを飲みこんでいるようにも見える光景です。物流の拠点の活力が感じられます。

佳作



□ 小ノ島 博善

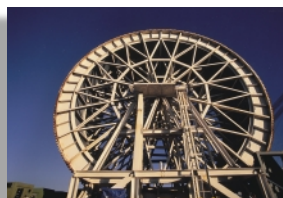
「夢の海上高速道」(兵庫県明石海峡)



□ 松崎 盛樹

「港湾寸景」

(静岡県焼津漁港)



□ 三浦 一泰

「暮れなすむ塩釜港」

(宮城県塩釜港)



□ 田辺 紀子

「赤灯台」

(大分県大分港)



□ 高木 志津夫

「アクロバット」

(福島県小名浜港)





□ 玉置 正  
「ブルーライトヨコハマ」  
(神奈川県横浜港)



□ 日比野 義孝  
「旅立ちの朝」  
(愛知県名古屋港)



□ 藤井 裕  
「港のシンボル」(秋田県秋田港)



□ 小高 紘佑  
「海づくり栈橋」  
(神奈川県横浜港)



□ 上里 輝夫  
「無人島」  
(沖縄県こまか島)



□ 金岡 光春  
「舟屋の夏と遊覧船」  
(京都府伊根湾)



□ 室井 義雄  
「貴船まつり」  
(神奈川県真鶴港)



□ 望月 信明  
「朝焼けの埠頭」  
(静岡県清水港)



□ 串田 宏好  
「夕暮れの港」  
(大阪府大阪港)



□ 林田 明熟  
「只今、積み込み中！」  
(兵庫県神戸港)



□ 杉山 元次  
「荷役作業中」(静岡県清水港)



□ 神田 昭  
「海の日まつり&光の芸術」  
(東京都東京港)



上木 利睦  
「係留作業」  
(大阪府大阪港)



斉藤 清  
「ふじ丸出港」  
(東京都東京港)



合田 将史  
「出港」  
(兵庫県神戸港)



長瀬 芳伸  
「週末の午後」  
(北海道苫小牧港)



西川 清  
「ケーソン据付け現場」(大阪府大阪港)



本橋 省吾  
「遠足」(東京都東京港)



杉山 信吾  
「東京湾大華火祭」(東京都東京港)



山田 宏作  
「訓練生」(鹿児島県鹿児島港)



菊池 宗親  
「秋の海」  
(岩手県釜石港)



曽根 満治  
「飛鳥Ⅱ横浜港出航」  
(神奈川県横浜港)



坂倉 徹  
「千葉港暮色」  
(千葉県千葉港)



江戸 勝男  
「流水と闘う知床漁民」  
(北海道知床港)





川根 一雄  
「上空から石油タンクを望む」  
(鹿児島県鹿児島港)



松田 光子  
「離れ小島の定期便」  
(沖縄県東国港)



西川 善雄  
「川崎港の富士」  
(神奈川県川崎港)



吉江 和幸  
「夕暮れ時」(北海道函館港)



浅見 崇司

「進水」(兵庫県神戸港)



仲俣 勝子

「夕暮れ」(静岡県井田海岸)



川井 美代子

「大漁旗なびく」(静岡県大瀬崎)



平野 昌子  
「ようこそ日本へ」  
(神奈川県横浜港)



仲野 哲雄

「島の時間」  
(大分県保戸島)



牧原 昭文  
「夕刻の海辺」  
(鳥取県北条砂丘)



小坂 善男  
「ヨコハマ・ファンタジー」  
(神奈川県横浜港)

佳作について

ご覧の通り、バラエティに富んだ、優れた作品ばかりで、応募作品全体のレベルの高さに感心します。

しかし、長年続いているこのコンテストではややもすると、今迄の入賞作品に類似したものが多く寄せられる傾向もあります。

皆さん自身の目で、ウォーターフロントの新しい発見をしていただきたいと思います。

例えば、海側から見た港や海岸の風景や生活を狙ってみるのは如何でしょうか。新しい発見があるかもしれません。